

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 7 月 7 日 (2011.7.7)

【公開番号】特開 2010-232743 (P2010-232743A)

【公開日】平成 22 年 10 月 14 日 (2010.10.14)

【年通号数】公開・登録公報 2010-041

【出願番号】特願 2009-75222 (P2009-75222)

【国際特許分類】

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

H 0 4 J 1/00 (2006.01)

H 0 4 B 1/707 (2011.01)

H 0 4 J 3/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 5 5 1

H 0 4 Q 7/00 5 4 6

H 0 4 Q 7/00 5 4 7

H 0 4 Q 7/00 5 4 9

H 0 4 Q 7/00 5 5 6

H 0 4 J 1/00

H 0 4 J 13/00 D

H 0 4 J 3/00 H

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 5 月 25 日 (2011.5.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各移動局に対して、所定の物理信号を送信するための物理信号送信用リソースとして、時間方向リソース、周波数方向リソース及びコード方向リソースを割り当てるように構成されているリソース割当部を具備し、

前記周波数方向リソースは、周波数領域及び該周波数領域内の周波数位置によって特定されるように構成されており、

各移動局によって送信される複数の物理信号で使用される周波数帯域幅が同一である場合、前記リソース割当部は、各移動局に対して、前記物理信号送信用リソースとして、前記時間方向リソース及び前記周波数方向リソースを割り当てた後に、コード方向リソースを割り当てるように構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の無線基地局。

【請求項 2】

前記リソース割当部は、各周波数方向リソースにおけるコード方向リソースの使用状況に基づいて、前記物理信号送信用リソースとして割り当てる周波数方向リソースを決定するように構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の無線基地局。

【請求項 3】

前記リソース割当部は、各時間方向リソース内において、使用中のコード方向リソースの数が少ない周波数方向リソースから順に、前記物理信号送信用リソースとして割り当てるように構成されていることを特徴とする請求項 2 に記載の無線基地局。

【請求項 4】

前記リソース割当部は、各時間方向リソース内において、使用可能なコード方向リソースの数が多し周波数方向リソースから順に、前記物理信号送信用リソースとして割り当てるように構成されていることを特徴とする請求項2に記載の無線基地局。

【請求項 5】

前記リソース割当部は、各時間方向リソース内において、コード方向リソースの使用率が小さい周波数方向リソースから順に、前記物理信号送信用リソースとして割り当てるように構成されていることを特徴とする請求項2に記載の無線基地局。

【請求項 6】

前記リソース割当部は、各周波数方向リソースにおいて、解放された後に一定期間経過したコード方向リソースを、前記使用可能なコード方向リソースとするように構成されていることを特徴とする請求項3に記載の無線基地局。

【請求項 7】

前記リソース割当部は、各周波数方向リソースにおいて、コード方向リソースを、所定の順序でラウンドロビンに割り当てるように構成されていることを特徴とする請求項3に記載の無線基地局。

【請求項 8】

前記リソース割当部は、各周波数方向リソースにおけるコード方向リソースを、間欠的に割り当てるように構成されていることを特徴とする請求項1に記載の無線基地局。

【請求項 9】

前記リソース割当部は、特定インデックスが付与されているコード方向リソースの割り当て位置を、他セルにおける該特定インデックスが付与されているコード方向リソースの割り当て位置からずらすように構成されていることを特徴とする請求項1に記載の無線基地局。

【請求項 10】

各移動局によって送信される複数の物理信号で使用される周波数帯域幅が異なる場合、前記リソース割当部は、第1周波数帯域幅に渡る該物理信号を送信するための物理信号送信用リソースとして割り当て可能な時間方向リソースと、第2周波数帯域幅に渡る該物理信号を送信するための物理信号送信用リソースとして割り当て可能な時間方向リソースとを変えるように構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の無線基地局。

【請求項 11】

各移動局によって送信される複数の物理信号で使用される周波数帯域幅が異なる場合、前記リソース割当部は、第1周波数帯域幅に渡る該物理信号を送信するための物理信号送信用リソースとして割り当て可能な時間方向リソース及び周波数帯域内の周波数位置の組み合わせと、第2周波数帯域幅に渡る該物理信号を送信するための物理信号送信用リソースとして割り当て可能な時間方向リソース及び周波数帯域内の周波数位置の組み合わせとを変えるように構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の無線基地局。

【請求項 12】

各移動局に対して、所定の物理信号を送信するための物理信号送信用リソースとして、時間方向リソース、周波数方向リソース及びコード方向リソースを割り当てる工程を有し、

前記周波数方向リソースは、周波数領域及び該周波数領域内の周波数位置によって特定され、

前記工程において、各移動局によって送信される複数の物理信号で使用される周波数帯域幅が同一である場合、各移動局に対して、前記物理信号送信用リソースとして、前記時間方向リソース及び前記周波数方向リソースを割り当てた後に、コード方向リソースを割り当てることを特徴とする移動通信方法。